

平成 19 年度県民モニター第 1 回アンケート調査（テーマ：生涯学習のあり方）
自由意見への対応状況等について

モニターの皆さんに自由記入いただいた内容に対し、県の対応状況や考え方を示しています。

Q 公的機関の講座等は、民間に比べてどのようなことに重点を置くべきか（選択肢以外で自由記入） （52件記載）			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	実践面で役立つ講座など内容を充実させる。	19	既存施策・事業で対応 県では、美術館・博物館等各分野の専門機関や地域の文教府・文化会館などで様々な講座を実施しており、講座内容は、消費者問題・環境問題など特定のテーマに沿ったものから地域づくり活動の人材養成講座まで多岐にわたっています。今後も多様な県民のニーズを踏まえ、質の高い講座提供に努めていきます。
2	日曜日の開催や子連れ参加を認めるなど気軽に参加できるようにする。	17	既存の施策・事業で対応 講座の休日開催や子どもの預かりサービスについては、現在でも男女共同参画センターなどで開催する講座において実施しているところです。今後も幅広い層の県民が講座に参加できるよう、利便性の向上を図っていきます。
3	講師のレベルアップを図る。	7	既存施策・事業で対応 講座開催にあたっては講座の目的に即した講師の確保に努めています。今後も講師人材の情報収集や講師の質の向上に努めていきます。
4	民間に委ね、行政が担う必要はない。	4	その他 民間のカルチャーセンターなどでも多数の講座が提供されており、講座提供にあたっては、行政と民間との役割分担を踏まえる必要があります。例えば、地域づくり活動の人材養成など公益性の高い講座は行政の役割と考えています。
5	継続的に学習できるよう安定した制度運営を行う。	3	既存施策・事業で対応 県内には大学、博物館・美術館、民間事業者など豊富な学習資源が存在します。 県は、県民が豊富な学習資源の中から目的に合った学習資源を選択してライフステージに応じた学習活動を継続していけるよう、「生涯学習情報プラザ」において県内外の学習資源の情報を収集し学習相談に応じるほか、学習機関のネットワークづくりを進め、県民の学習活動を総合的に支援しています。

6	学習ができる場所を提供する。	2	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>県では、美術館・博物館等各分野の専門機関や地域の文教府・文化会館などで様々な講座を実施しています。</p> <p>こうした直接的な学習機会の提供のほかに、インターネットによる生涯学習情報提供システム「ひょうごインターキャンパス」を運営するなどにより、県民が生涯学習に関する情報を幅広く入手できる環境を整備しています。</p>
---	----------------	---	---

<p>Q (前問で「高齢者学習について行政が取り組むべき」とした方へ) どうして行政が取り組んだ方がよいと思うか。(選択肢以外で自由記入) (48件記載)</p>			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	心身の健康や生きがいの増進に役立ち、医療費の抑制などにもつながる。	13	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>高齢者学習は、高齢者の心身の健康増進や社会参加につながる効果が期待できます。</p> <p>現在、県と市町では高齢者大学を運営し、高齢者への学習機会の提供を通じて高齢者の生きがいづくりを支援しています。</p>
2	費用面や利便性など参加のしやすさに配慮できる。	11	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>県高齢者大学を運営するにあたっては、高齢者のニーズや地域の事情を踏まえ、高齢者が学習活動に参加しやすい講座運営に努めています。</p> <p>費用負担については、できるだけ多くの高齢者が学習活動に参加しやすいよう配慮するとともに、受益と負担の観点から適切な負担を求めることも必要と考えています。</p>
3	学習の機会や内容等の公平・中立性を確保できる。	8	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>生涯学習資源が地域的に偏在することなく、県内各地で学習機会が得られるよう、学習機関が少ない郡部において地域高齢者大学(5か所)を運営しています。</p>
4	地域や社会の活性化につながる。	8	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>県や市町が運営する高齢者大学では、高齢者が生涯学習を通して教養を高め、仲間づくりの輪を広げる機会を提供することにより、高齢者の生きがいづくりを支援しており、地域の活性化が期待できます。</p>

5	高齢者だけを優遇する必要はない。	5	<p>その他</p> <p>団塊世代の定年退職期を迎え、これから高齢者人口の増加が見込まれるなかで、高齢者の学習機会の充実は社会的にも高いニーズがあると認識しています。県は、今後も市町や民間との役割分担を踏まえたうえで高齢者の学習体制の充実を図っていきます。</p>
6	高齢者が実践で活動できる場の創出に力を注ぐべきである。	3	<p>既存の施策・事業で対応</p> <p>県高齢者大学では、カリキュラムに地域での実践活動を取り入れたり、学生による地域活動グループを地域に派遣するなど、在学生や卒業生が高齢者大学での学びを生かして地域で活動することを積極的に支援しています。今後、団塊の世代が退職期を迎え、高齢者の活動の場がより一層求められることから、関係機関と連携し、多様な活動の場の創出に取り組んでいきます。</p>

<p>Q 様々な主体が高齢者対象の学習機会を提供するなかで、県が力を注ぐべきこと（選択肢以外で自由記入） （34件記載）</p>			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	多様な学習の場や機会を増大させる。	13	<p>既存の施策・事業で対応</p> <p>現在、県では県内7か所で高齢者大学（通学制）を運営するほか、ラジオ放送による講座提供（高齢者放送大学）を行っています。市町や民間でも様々な講座が実施されているなかで、今後も県は市町や民間との役割分担を踏まえたうえで、高齢者に多様な学習機会を提供しています。</p>
2	指導員の養成や次世代への技術伝承など高齢者の活用を考える。	13	<p>既存の施策・事業で対応</p> <p>県高齢者大学では、カリキュラムに地域での実践活動を取り入れたり、学生による地域活動グループを地域に派遣するなど、在学生や卒業生が高齢者大学での学びを生かして地域で活動することを積極的に支援しています。</p>

3	高度な専門性を習得できる学習機会を提供する。	4	<p>既存の施策・事業で対応</p> <p>いなみ野学園では4年制大学講座に加えて大学院を開設し、高齢者に総合的、体系的な学習機会を提供しています。</p> <p>大学院ではゼミ形式の授業を取り入れるなど、より専門性の高い実践的な学習を通じて地域社会の課題解決を支える人材養成を行っています。</p>
4	公共性や社会性の高い講座を実施する。	4	<p>既存の施策・事業で対応</p> <p>県高齢者大学では、民間との役割分担を踏まえ、いなみ野学園の「地域活動指導者養成講座」をはじめとする公益性の高い講座運営を行っています。</p>

Q 生涯学習全般で県などに期待すること (518件記載)			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	定員や時間帯の拡大、開催場所の多様化など学習機会を拡充する。	205	<p>既存の施策・事業で対応</p> <p>講座の開催にあたっては、できるだけ県民が参加しやすい講座運営に努めているところです。今後も、県民がより多様な学習機会が得られるよう、開催場所や開催時間などについて工夫を図っていきます。</p>
2	実践面を学べるなど内容の充実やテーマを絞った講座開設など専門性を追求できるようにする。	76	<p>既存の施策・事業で対応</p> <p>地域づくりの人材養成を目的として開設している「ふるさとひょうご創生塾」では卒塾後の地域活動を視野に入れた実践的なカリキュラムを組んでいます。また、県立博物館では研究員によるセミナーを開催するなど、専門性の高い講座を提供しています。</p>
3	ボランティア活動への展開など学習成果を活用できる仕組みや場などを提供する。	66	<p>既存の施策・事業で対応</p> <p>学習者が学習によって得た成果をボランティア指導者として社会に還元する場として「生涯学習リーダーバンク」を設置しています。</p> <p>また、県民が身近な地域を舞台に実践活動や生涯学習に取り組むことができる場として県民交流広場事業を展開しており、実践と学びとが一体となった活動の場を創出しています。</p>

4	行政と民間企業の学習プログラムの共同開発など関係機関との連携や役割分担を図る。	4 6	既存の施策・事業で対応 「生涯学習情報プラザ」では「生涯学習機関ネットワーク交流会議」を開催するなど、行政・民間の垣根を越えた生涯学習機関のネットワークを構築しています。
5	助成制度の創設などによる安価で費用のかからない機会づくりを行う。	4 4	既存の施策・事業で対応 県民が学習活動に参加しやすいよう、講座運営にあたっては、受講者の費用負担について配慮しています。なお、質の高い講座を継続的に提供していくためには、受益と負担の観点から、受講者に相応の負担を求めることも必要と考えています。
6	多様な媒体の活用などによりPRを強化する。	3 8	既存の施策・事業で対応 「県民だよりひょうご」などの広報誌や生涯学習情報ネットワークシステム「ひょうごインターキャンパス」など多様な広報媒体を通じて学習に関する情報を発信しています。
7	高齢者が蓄積した知識や経験などを活用できる環境整備に力を注ぐ。	1 8	既存の施策・事業で対応 県高齢者大学では、高齢者が長年培ってきた知識・経験を生かし、地域で活躍することを目的として、地域活動の人材養成を目的とした講座を行っています。 このほか、「生きがいしごとサポートセンター」ではコミュニティ・ビジネス等の起業を希望する団塊世代・高齢者に対するセミナーや相談を実施しています。
8	行政がこれまで以上に取り組むべきである。	1 4	その他 カルチャーセンターなど民間でも多様な講座が提供されているなかで、県は市町や民間との役割分担を踏まえ、公益性、先導性、広域性、補完性を重視した生涯学習行政を推進していきます。
9	生涯学習は個人の意欲に委ねるべきである。	1 1	その他 生涯学習は個人の主体的な取り組みであることを踏まえたうえで、県には県民の学習活動を支援する役割があると考えています。 社会の成熟化に伴い、県民の生涯学習への意欲が高まるなかで、県は今後も地域活動の人材養成など公益性の高い講座の提供などにより、県民の学習活動を支援しています。